

# うさぎだより Vol.3



～白井病院 院内活動報告～

## 「認知症について」第1回

～「加齢による物忘れ」と「認知症による物忘れ」の違いとは？～

認知症の症状の一つに「物忘れ」がありますが、誰でも加齢に伴い、記憶力が少しずつ悪くなります。では単なる脳の老化による物忘れと、認知症による物忘れはどのように違うのでしょうか？



加齢による物忘れ	認知症による物忘れ
体験・経験の一部を忘れる	体験・経験そのものを忘れる
ヒントを与えると思い出せる	ヒントを与えても思い出せない
忘れたことを自覚・理解している	忘れたことを自覚・理解していない
自分の今いる場所や時間が分かる	自分の今いる場所や時間が分からなくなる
なくし物は自分で探そうとする	なくし物を誰かに盗られたと思う
作り話はしない	つじつまを合わせた作り話をする
性格に変化はない	性格に変化がある
物忘れはほとんど進行しない	物忘れが進行する



ヒントをもらおうと思いつくのは、単なるもの忘れです。



加齢による物忘れは、私達も経験のある**日常生活でよく起こりうる物忘れ**です。大抵の場合、物忘れをしたことを自覚しています。

対照的に認知症は忘れてしまったことそのものも忘れてしまいます。さらに自分のいる場所が分からなくなる、性格に変化が現れる等により、日常生活に支障が出る場合もあります。

当院では、『**もの忘れ外来**』の他に、認知症かどうかを総合的に判断する『**もの忘れドック**』検査も実施しております。仮に認知症であったとしても、早期に治療を受ければ進行を遅らせることが可能です。

(平成28年12月)

詳しくは職員まで  
お尋ね下さいピョン!!



担当：白井病院 「メッセージを伝える」グループ  
今後の報告予定 病院内の花のご案内（仮）

ご意見、ご感想は [info@shiraihp.or.jp](mailto:info@shiraihp.or.jp) までお願い致します

